

令和8年度奥玉振興協議会総会 地域づくり計画の見直し案も承認 5/20

奥玉振興協議会の令和8年度総会が5月20日に奥玉市民センターで開かれました。総会には、地区内の各自治会長、団体長、公職者など構成員47名のほか来賓、事務局員を含め51名が出席。菅野政彦会長の挨拶、来賓祝辞の後、議長に金安信氏（町下農家組合長）を選出し議事が進行され、慎重審議の結果、令和8年度事業計画案など提出された全議案が原案どおり可決されました。

今年度は、令和8年度を初年度とする今後10年間を見据えた「奥玉地区地域づくり計画」の見直し案についても提案され、「“笑顔と自然”あふれる奥玉～守り・創り・育てる～」をスローガンとし、「資源を生かした地域づくり」など4本柱を基本方針とする新たな地域づくり計画についても承認されました。



協議会総会～議案に対する採決



総会で挨拶する菅野政彦会長

来賓として出席した一関市長代理の千葉昌子千厩支所次長からは、「奥玉地区地域づくり計画」に基づき、地域特性を生かした奥玉地区の自立した活動展開に対し、敬意を表する旨の挨拶とともに、「ひとりひとりが輝く 挑戦し続けるまち いちのせき」を将来像に掲げ、「ひと・まち・しごとづくり」を基本方針とした「人口減少への対処」など、市の諸施策にも触れながらお祝いの挨拶がありました。

奥玉振興協議会運営委員会①・生涯学習推進員会議①（合同） 5/8

今年度第1回目となる奥玉振興協議会の運営委員会と奥玉地区生涯学習推進員との合同会議が5月8日に奥玉市民センターで開かれました。*****



運営委員と推進員との合同会議

主要議題は、令和8年度総会の提出案件が中心となりましたが、昨年度新たに見直しを行った「奥玉地区地域づくり計画」の素案についても意見交換が行われました。

また、生涯学習推進員への委嘱状交付、市の社会教育行政の方針説明や「自主学級等への助成」「研修バスの利用」「各種講座等の企画・運営」など生涯学習推進に関する協議も行われました。*****



生涯学習推進員への委嘱状交付

◆ 新たに委嘱された生涯学習推進員（任期は2年、敬称略）

自治会名	氏名	摘要	自治会名	氏名	摘要
大平自治会	千葉美保	再任	天ヶ森自治会	小野寺公子	再任
宝築自治会	藤野弘子	新任	町下自治会	千葉玲子	再任
中日向自治会	及川輝美	再任	寺崎前自治会	菊地健太郎	新任
三沢自治会	小山美由紀	再任	花貫自治会	菅原恵美子	再任

生涯学習推進員は、各自治会より推薦された皆さんです。

地域振興部会 菜の花畑周辺環境整備 ～ 菜の花を見る会 5/4



菜の花を見る会～「シャボン玉パフォーマンズ」に歓声を上げる子どもたち

平成29年度から当協議会の地域振興部会で取り組んでいる遊休農地を活用した「菜の花畑」景観形成事業。今年は例年よりやや花数が不足でしたが、周辺で無邪気に遊ぶ子供たちの姿も見られました。

担当する地域振興部会（小野寺雅彦部会長）では、町下自治会との共催によるイベント～「菜の花を見る会」の開催に合わせ、5月4日に部会員18名の協力で菜の花畑周辺・畦畔など約50アールの草刈り・環境整備作業を行いました。

当日のイベントには約100名が集まり、賑やかな「見る会」となりました。



部会員による「菜の花畑」周辺の草刈り作業



NPO法人響生(ひびき)通常総会 今年度末で事業を終了し法人解散へ 5/23

奥玉地区で、平成21年より放課後等デイサービス事業など障がいのある子どもたちの支援活動を行ってきたNPO法人響生(ひびき)の杉山浩理事長は、「当法人の設立目的は一定の成果を持って概ね達成された。」とし、令和8年度末を持って事業を終了することが5月23日に開かれた令和8年度通常総会で明らかとなりました。

ふるさとまつりや民芸大会など奥玉地区の各種事業や行事などでも連携してきた関係にあり、地域として非常に残念ですが、すでに市当局とは建物(旧奥玉保育園舎)の扱いや法人の解散・清算に向け協議中とのことであり、今後の推移を見守りたいと思います。



NPO 法人響生の総会（マリアージュ）

奥玉市民センター・天ヶ森自治会合同研修会「南三陸復興支援視察」 5/21

奥玉市民センターと天ヶ森自治会の合同研修会が5月21日に「南三陸復興支援視察」として気仙沼市方面で開催されました。

この日は、天ヶ森自治会や白藤サロンのメンバーなど16名が参加。気仙沼市の東日本大震災遺構・伝承館、はまなす海洋館、大谷道の駅、震災復興祈念公園などを視察し、車内では市民センター職員による大震災の資料学習も行われました。

津波伝承館では、参加者がそれぞれ自らの体験や記憶を思い起しながら、感慨深げに施設内を見学していました。



研修参加者（東日本大震災遺構・伝承館）

地縁団体奥玉愛林公益会 第15回通常総会 クマ対策への要望も 5/15



奥玉愛林公益会の総会

地縁団体奥玉愛林公益会（熊谷光彦会長）の通常総会が5月15日に奥玉市民センターで会員総数1,439人中、本人出席26人（委任状1,319人）で開かれました。

熊谷会長の挨拶、来賓を代表して一関市長代理の菅原由幸千厩支所長から祝辞が述べられた後、議長に畠山栄一さん（宝築）を選出し議事が進められ、提出された事業計画及び収支予算案など3議案は、いずれも原案のとおり認定・可決されました。

熊谷会長は、昨年の大船渡市、今年の大槌町で発生した大規模林野火災に触れ、林野での火気取扱いに細心の注意を呼び掛けていました。

また、参加者からは、クマ対策として「いわての森林づくり県民税」を活用した緩衝帯整備など、市への働きかけや具体的取り組みについての要望なども出されていました。

飛ヶ森キャンプ場情報 来訪者を直撃インタビュー

今回は兵庫県神戸市から来訪の西和田誠さん（70）を直撃。毎年5月と8月には東北を訪れ、キャンプツーリングを満喫しているという西和田さん。今回は、5月30～31日に藤沢町で開催されるVラリー（ハーレーダビットソンをはじめとする数多くのバイク愛好家が一堂に会するミーティングイベント）に参加のため、事前に飛ヶ森キャンプ場を訪れたとのこと。「コンビニまで少し遠いけど、大自然とトイレの清潔感が最高」と感想をいただきました。*****



西和田さんと愛車のハーレー



顔馴染やキャンプ仲間との交流

また、昨年取材した三重県松坂市から来訪の石井理文さんと北村一子さんは、今年も4月末から5月初めまでの8日間滞在。愛犬の2匹のトイプードル「チェリー」と「ナナ」ちゃんと共に、飛ヶ森で知り合った多くのキャンプ仲間たちとすっかり意気投合し、ゆったりとした時間を堪能していました。石井さんは、「ここを目的地に、休暇を取ってまた来年も来ます！」と話していました。



石井さんと2匹の愛犬